



主権者・消費者教育啓発講座 -9月29日-

「主権者・消費者教育啓発講座」を実施しました。生徒会役員立会演説会・選挙を兼ねての実施です。立会演説会では、7名の立候補者が堂々と演説し、学校をより良くするための思いを伝えてくれました。そして、宇和島市選挙管理委員会から岡本様に選挙についてのお話をいただき、お借りした本物の記載台、投票箱を使い、実際に選挙を行いました。現在、選挙権年齢は18歳以上ですが、選挙への参加意識の向上を図ることができました。

ハイライト:

- ・主権者・消費者啓発講座
- ・人権・同和教育HR活動
- ・アンネのバラ プロジェクト
- ・SDGs ファッション 等



人権・同和教育ホームルーム活動 -9月22日-

津島分校では年に4回、人権・同和教育のホームルーム活動を実施していますが、今回が2回目の実施になります。1年生は「障がい者差別」について考えました。障がいの種類、特に今回は聴覚障がいについて考察し、聴覚障がいの方が困ることは何か、その時どう行動するかなど相手の立場に立って理解を深めることができました。2年生は夏休みに実施した津島町合同研修会の内容を発表しました。山口県萩市の部落解放史の説明、松陰神社や反射炉見学などのフィールドワークで学習した内容、感想を発表しました。どの学年も学ぶたびに新しい気づきがあり同和問題への関心が深まった充実した授業となりました。



アンネのバラプロジェクト -9月29日-



人権委員は分校の統合に向けて、これまでお世話になった津島町の関係施設に校内のアンネのバラを引き継いでいただこうと考えています。専門の先生に剪定や挿し木の作業方法を教わりました。弱っていたバラも元気を取り戻し 9月下旬には左のようなきれいな花が咲くようになりました。

お知らせ

津島分校学校説明会

11月25日(土)、10:00~11:30 中学3年生の生徒及び保護者を対象に、本校単独の学校説明会を実施します。生徒のみ、保護者のみの参加でも差し支えありません。

SDGsファッション -9月26日-

料理講習会 -9月27日-

家庭クラブでは、宇和島産業専門校とコラボして、SDGs企画「衣料ロス削減のためのサステナブルファッション作品制作」に取り組んでいます。この日も産業専門校の田窪先生に来校いただき指導してもらいました。持続可能な社会を目指し、古着が大量発生する社会問題をの解決を目指して、古着を自分の着たい服にデザインし、専門校生が制作してくれます。完成品を文化祭で披露いたします。

こちらはすっかりおなじみ「お湯ポチャ料理レシピ」。今回のテーマは「冷凍うどん」。冷蔵庫にある残り物や保存食品を活用して3年生のフードデザインの選択生が考案しました。マーボー風うどん・うどんDEナポリタン・レトルトで味変うどんなど、興味を惹かれるメニューがたくさん。防災キャンプや合同訓練で披露します。

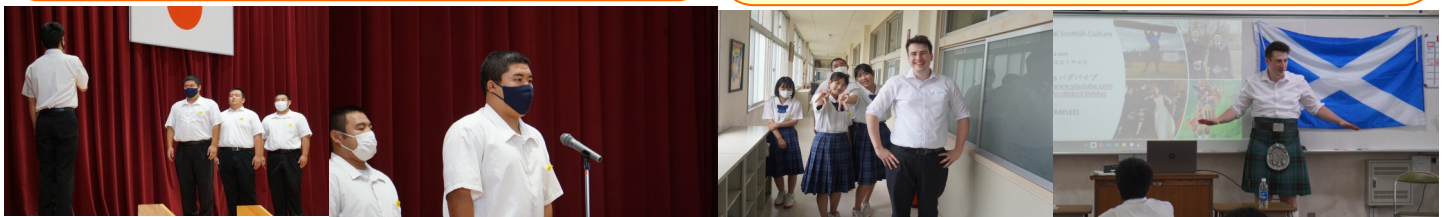


国体壮行会 -10月2日-

カラム先生赴任 -9月27日-

2年連続インターハイ5位入賞の相撲部、3年生にとっては高校生活最後の大会です。主将の兵頭選手が愛媛県代表として全力で挑み日本一になりますと力強く宣言してくれました。たくさんの感動を与えてくれた相撲部の健闘を祈りたいと思います。

スコットランド出身のカラム・デビットソン先生に来ていただくことになりました。最初の授業では母国の風習の紹介などしていただきました。スカートのような伝統衣装キルトは日本で言う紋付き袴のようなもので、各家庭でデザインが異なるそうです。日本食はたこ焼きがベリーグッドだそうです。



津高においてよ！ -中学生へのメッセージ！-



津島分校は89名の生徒が在籍しています。学年の枠を超え、全員が協力して学校生活を送っています。9月に開催された体育祭では、準備から本番を迎えるまで多くの先輩方やクラスメイト、地域の方々と充実した時間を送ることが出来ました。3学年がそろって行う特別な体育祭も残すところ来年度の1回！ 私たちは皆さんの入学を楽しみにしています。一緒に津島町を盛り上げていきましょう！！
1年 河野 美有（津島中学校出身）



津島分校は友達はもちろん先生とも仲が良く、困ったことがあれば気軽に相談できる学校です。そのため、中学まで苦手科目であった数学ができるようになったのもわからない所があればすぐに聞いて納得できるまで勉強できる環境だからだと思います。体育祭では少人数だからこそ全校生徒で力を合わすことができ、最高の体育祭を作り上げることが出来ました。皆さんも津島分校に来ませんか。
2年 森 萌菜（城東中学校出身）



津島分校は少人数ではありますが、元気な生徒が多い学校です。また、先生方も楽しい方が多いので気兼ねなく相談出来たり、一緒に活動できたりします。私自身もそういう環境の中で楽しく学校生活を送ることができ、思い出もたくさんできたように思います。私は茶道部に入っていて、はじめのころは所作も礼儀もわかりませんでしたが、茶道を通じて心が所作に現れることを学び、心構えの大切さと、日本の伝統文化の奥の深さを知ることが出来ました。中学生の皆さん、分校でゆったりと深い学びを経験しませんか。 3年 柿内 響（城東中学校出身）